

## 大学の地域貢献

桑原地区には、愛媛大学（農学部）、松山東雲女子大学、松山東雲短期大学の三つの大学があり、広々としたキャンパスと緑の空間、若者の活気、こうした環境はすでに私たちの暮らしの中に溶け込んでいます。まちづくりを進めていくうえで、大学と地域の関係は、これからますます重要になってくると思われませんが、この頃、よく耳にする「大学の地域貢献」について、両大学からお話を伺いました。

### 地域とともに発展を



愛媛大学は地域にある大学として地域とともに発展することを目指しています。農学部は多くの学部などがある城北から離れた樽味の地にあり、地域との連携もとりやすく、ここ数年はオープンキャンパスの開放、地域

向けの講演会や観月祭にも地域の方に参加していただくなど地域との連携を進めようとしています。まちづくり協議会設立総会も農学部を使っていただきましたし、学生も地域の催し物に参加したと聞いています。また、桑原小学校の低学年の皆さんが、農学部構内の見学をしてくれました。少しでも、大学が地域の子供さんの成長や地域の発展にお役に立てればうれしく思いますので、大学を利用してください。

林 和男（愛媛大学農学部長）

### 地域の方々と力を合わせて

地域貢献は、大学に課せられた重要な社会的任務です。かつて大学の課題は、入学した学生の教育と学問の継承・発展が主なものでしたが、現在は、社会へのより直接的な貢献が、その中心の一つとされています。特に、松山東雲女子大学・松山東雲短期大学では、社会人教育やボランティア活動を通じての地域社会との関わりを重要な使命と位置づけ、建学の精神（キリスト教主義）の中にも掲げています。：ミッションを貫く 一知性と愛を育む教育、ひとり一人を大切に、地域に貢献。地域の方々と力を合わせて、よい実を結ぶよう、努めたく思っています。



磯村 滋宏（松山東雲女子大学・松山東雲短期大学 学長）

## 体育活動部 イベント情報

予告

桑原地区まちづくり協議会では、設立記念イベント行事として、桑原体育協会協賛による「桑原地区健康測定フェスティバル」を開催いたします。

桑原地区にお住まいの老若男女対象に簡単なトレーニング体操や血管年齢測定などの健康測定も合わせて開催いたします。この機会に、ご自身の体力度を計測してみませんか。

※内容は多少変更することがあります。

**日時** 11月14日(土)  
8:30~12:00

**場所** 桑原小学校体育館  
及びその周辺

**内容** コーディネーション・トレーニング、  
健康測定等

**主催** 桑原地区まちづくり協議会

**協賛** 桑原体育協会・  
松山市国保年金課

## 松山東雲女子大学と共催

### ～ 講演会のご案内 ～



川北 秀人

#### Profile

1964年大阪生まれ。87年に京都大学卒業後、(株)リクルートに入社。国際採用・広報・営業支援などを担当し、91年に退職。その後国際青年交流NGO「オペレーション・ローリー・ジャパン」の代表や国会議員の政策担当秘書などを務め、94年にIHOE設立。NPOや社会責任・貢献志向の企業のマネジメント、CSRや環境・社会コミュニケーションの推進を支援している

「まちづくり協議会」が発足し4ヶ月が経過いたしました。地域と学校、住民と住民をつなぐ活動を、地域としてどのように取組むべきかNPO活動の先駆者である川北秀人氏をお招きし、講演会を開催することといたしました。沢山の方のご参加をお待ちしております。

**日時** 11月27日(金) 19:00~21:00

**場所** 松山東雲女子大学  
本館北3-11教室(170人収容)

**講演** 「学校支援から始めるまちづくり」

## 新入部員 はっらっ レポート

こんにちは!!新しく桑原情報発信部に入部した垣原です☆今回桑原まちづくりの一員としてみなさんの住んでいるまちを紹介したり、新たな情報をたくさん提供していけたらと思っています!!みなさん、私たちがどのような活動をしているかご存知ですか??正直なところ私自身どのような活動をしているのか知りませんでした。しかし!これから桑原地区のいいところを学生目線からいっぱいPRして、みなさんとよりよいまちづくりを目指していきたいと思ひます!

そこで!!桑原まちづくりでは活動に参加して下さる部員さんを募集しています!!みんなで一緒に桑原地区を盛り上げていきませんか??

情報発信部員 垣原桂子

くまばらわん

**1** 桑原の祭りといえば、おみこし&獅子舞

**2** 今年のお祭りでも、キスケパオの駐車場におみこしが大集合する予定です。楽しみですね。

**3** ととこで、獅子舞に感動したくまばらさんは、クマ舞なるものを作りました。

**4** 新キャラクター「クマ舞」登場。ますますオチのないこの4コマ、次号につづく。



# どんな桑原の 将来を望みますか



6月13日(土)松山市主催の「地域リーダー養成セミナー」が桑原公民館で開催され、受講生による「まち歩き探訪」とワークショップが開催されました。各地域のリーダーを目指して1年間の研修を行ってきた受講生たちは、福祉問題・ゴミ問題・学社融合の3班に分かれ、桑原地区が置かれている環境について、地元関係者からの話を聞きながら2時間程度のまち歩きを行いました。



まち歩きの報告をする受講生

独居老人宅訪問、ゴミステーション廻り、学校探索と自分たち与えられた課題に真剣に取り組んだ受講生は、公民館に戻り課題と問題点を抽出して、次回、成果報告として発表することとなりました。

6月のまち歩きの後、各班では成果報告をまとめ、8月7日(金)に桑原公民館分館において発表会を行いました。福祉問題では、独居老人宅に「元気ですよ」印の表示旗を玄関前に掲揚する。または、地域で1円募金を実施し、コミュニティバスの運行を行う。ゴミ問題では、桑原地区用有料ゴミ袋を作成し住民に購入をしてもらい活動資金とする。学社融合では「地学協働のまち」として、「地域で子どもを育て、子どもに地域を支えてもらうまち」を目指し、地域が子どもと一緒に活動するまちづくりを行う。また、狭い通りが多いので青色パトロール自転車隊を結成し、安心安全のパトロールを行う。などの提言をいただきました。

これらの提言を真摯に受け止め、発展させることが出来れば、すばらしい桑原になる可能性を秘めているのではないかとあらためて思いました。

## 桑原の ごみ問題に一言。

地域の一部の人がボランティアでごみ置き場を一生懸命きれいにしています。

しかし一方で、分別をしない、夜中にごみを出す、不法投棄をする人もいます。夜にごみが出ていると通行の支障になり危険ですし、ごみ置き場が汚い地域は泥棒に狙われやすいと言われています。みなさん、善意に甘えず、自分のごみに責任を持ちましょう。

また、粗大ごみの不法投棄も見られます。袋に入らない大きなものや小型家電(リサイクル対象を除く)は粗大ごみです。次回の桑原地区の粗大ごみ回収は、11月中旬頃で、その申込期間は9月28日～10月11日です(消印有効)。計画的に出しましょうね。

前回の史跡めぐりの様子



井手若狭守奥城の碑

### 史跡めぐりのご案内

～畑 寺～

**日時** 10月4日(日)9時集合  
(★雨天の場合は10月11日9時)

**集合場所** 桑原八幡神社の拝殿前

**参加自由** 小雨決行。帽子、水筒も忘れずに。

## 受講生のつくった桑原地区のまちづくり計画



### 第3班 くわばら地区まちづくり計画



目指す将来像	目標・テーマ	目標(方針)	具体的な取り組み	担当部会	予算	期間	優先順位
五美 ○安全・安心 ○全員参加 ○環境 ○コミュニケーション ○持続	ごみでまちづくり (ゴミ問題は地球規模で考え、地区から行動をする)	モラルの向上 地域住民の交流(コミュニティで人と人のつながり) 花のあるまちづくり	○ごみ袋の有料化 桑原地区用有料ごみ袋を作成し、住民に購入してもらう ○レジ袋の有料化(スーパーや商店に徹底を図る) ○エコバックの普及 ○資源ごみ(紙類・缶類)の集団回収に取り組む 【子供から大人までのゴミの勉強会をする】 ① ゴミモデル地区の視察・講師の依頼 ② ゴミボックスやゴミネットの購入 ③ 監視カメラの設置 ④ 花プランターの設置 ⑤ ゴミステーションの管理を輪番で行う ⑥ ゴミ減量推進員(14名)の設置	○環境部 ○町内会長会 ○商工会 ○高齢クラブ ○女性部 ○環境部 ○環境部 ○町内会長会 ○環境部 ○環境部 ○地域子供会 ○PTA	(ごみ袋製造) @5×2回/週×4週×11,500世帯×12ヶ月 =552万円/年 地区で5円のごみ袋を20円で販売してもらう 11,500世帯 25,000人(地区利益)1500万円/年 緑化基金から花の種をもらう 0円 ボランティア	長期 中期 短期	3 2 1

ここに紹介したのはセミナー受講生(桑原地区以外の市民)が授業の中で作成した仮のまちづくり計画ですが、桑原地区まちづくり協議会では、本物のまちづくり計画を作成する準備を進めています。

その一環として、住民のみなさんが桑原地区の現状や将来についてどのように感じているか、アンケートを実施することとなりました。無作為で選ばせていただいた方々に対して、近々、アンケート用紙をお届けしますので、回答にご協力ください。アンケート結果は、今後のまちづくり協議会の運営やまちづくり計画策定の参考にさせていただきます。

## 桑原地区の史跡めぐり⑥

～畑 寺～



### ①桑原八幡神社

松山八社八幡の第二社、寛治2年(1088)桑原古宮から現在地に移築された。中世河野氏一族の尊信厚く、社殿の修復や寄進をされている。江戸時代松山初代藩主松平定行が東野に隠居されたとき、太鼓や提灯を寄進されるなど、歴史の古いお宮です。昭和46年三島神社が合祀された。秋祭りには各町の大神輿8体・子供神輿14体が賑やかに宮出し、かきくらべで、多くのお参りの人々の見物で、にぎわっています。



### ②繁多寺

四国霊場五十番の札所。御本尊薬師如来を祀る本堂や鐘楼・大師堂・歓喜天堂・庫裏などの建物があります。孝謙天皇の勅願により、天平勝宝年間(749～756)に建立された。本堂は昭和35年に新築されました。  
・銅鐘…元禄9年(1696)法霊律師が世の中のあらゆる人々から貧富のへだてなく募金して造られ、繁多寺の歴史がほりこまれている。  
・歓喜天堂…商売繁盛、縁結びの信仰があつい。  
・雨乞い地蔵堂…ご詠歌に「登り来て聞くやみ寺の鐘の聲、首なし地蔵の徳を讃えん…」



### ③聖人塚

繁多寺から300mばかり南の岡の上に、御影石で造られた供養塔があります。正応元年(1288)に亡くなった間月上人五百五十回忌にあたる天保8年(1837)に、繁多寺代々の住職の供養塔として建てられた。



### ④百間土手

井手若狭守が構築した「市之井手」用水路で、苦勞した所。上から流れてきた水を三町の池に導入するため330m(100間)堤防を構築して水を通した。大変苦勞した土木工事でした。

